

## 都市計画道路宮上横山線建物等調査業務委託（事後調査）特記仕様書

### 1章 総 則

#### 1. 1 目 的

本仕様書は、工事施工箇所に近接する建物等に工事被害が発生した場合の被害状況を正確に把握するため、事後にその状態を調査するものである。

#### 1. 2 調査内容

調査対象とした建物等に立ち入り、主に目視により内外装の亀裂の有無や状態、傾斜の程度を調査する。調査した事実について写真や図面等に記録し、工事施工前の状態と比較できるようにする。

#### 1. 3 建物等への立ち入り等

調査対象建物等へ立ち入る際は、相模原市発行の身分証明書を携帯及び事前に本業務の趣旨を説明し、承諾を得るものとする。また、日時の取り決め等を確認した後、調査に入ること。調査は個人の建物に立ち入りプライバシーに関わるため、その保護に配慮しトラブル等を未然に防止するよう留意する。

#### 2. 4 所有者の立会い

調査に際し、所有者の意見を聴取するなど、建物の状況を確認する。

#### 1. 5 本業務においては、次のとおり、打合せ等を行うものとする。

本業務に関する発注者との打合せは業務着手時打合せ1回、中間打合せ1回、成果品納入時1回の計3回を計上しており、これは管理技術者が出席するものとし、発注者所在地又は監督員が指定する場所での対面協議を行う回数である。

#### 1. 6 算定

算定について、事務処理要領第6条（費用負担の要件）に定めるところにより、算定が必要と認められる建物及び工作物について費用負担額の算定を行うものとし、これらに要する費用については設計変更の対象とする。

### 2章 調 査

#### 2. 1 調査項目

調査項目は、原則として次の項目について実施し、その損傷の有無にかかわらず必ず写真撮影をしなければならない。

##### 1) 建物の全景

調査対象建物が周辺建物と相対的にどのような位置にあり、建物の種類が何であるかが判るように、全景写真を撮影する。

##### 2) 外壁、基礎、門扉、たたき、擁壁等の亀裂の幅、長さ

各項目の亀裂幅、亀裂長の測定及び写真撮影を実施する。

- 3) 内壁（タイル部を含む）の亀裂及び柱、回縁との隙間（ちりぎれ）の幅、長さ  
内壁モルタルの亀裂幅、亀裂長の測定及び写真撮影を実施する。  
トイレ、風呂場、玄関等のタイル張り部分の亀裂幅、亀裂長の測定及び写真撮影を実施する。  
内壁と柱、回縁等とのすき間の測定及び写真撮影を実施する。
- 4) 天井の亀裂、縁切れ、屋根の損傷及び雨漏等のシミの幅、長さ  
天井の亀裂幅、縁切れの測定及び写真撮影を実施する。  
屋根の仕上げ材の現況調査を行い、写真撮影を実施する。  
雨漏り等の痕跡の測定及び写真撮影を実施する。
- 5) 柱、床等の傾斜  
建物の基礎天端等のレベル測定及び建物の外壁面や柱等の傾斜値を測定する。なお、傾斜値は、必ず直行する二方向の傾斜状態を測定する。
- 6) 建具の建付け  
建具の建付け状況について、柱や窓わくとのすき間の測定及び写真撮影を実施する。
- 7) その他必要と思われるもの

## 1. 2 調査方法

- 1) 亀裂、隙間の幅は、亀裂幅測定器等を使用し、0.1mm 単位で測定する。
- 2) 亀裂、隙間の長さは、亀裂の先端、発生端の直線距離 1mm 単位で測定する。
- 3) 柱の傾斜は、柱に沿って下げ振りをたらし、水系 1m 間の柱から水系までの水平距離を 1mm の値まで読み、その差をもって傾斜の程度を表示する。
- 4) 床の傾斜度は、2 方向について 1mm 単位で測定する。
- 5) 建て付け状況は、閉じた状態で窓枠、柱等との隙間を 1mm 単位で測定する。

## 2. 3 写真撮影

- 1) デジタルカメラを使用する。
- 2) 撮影項目は、上記の調査内容にしたがって状況を記録する。
- 3) 撮影対象をピンポール等で指示し、次の項目を記入した黒板を入れて撮影する。
  - ① 撮影年月日
  - ② 所有者
  - ③ 撮影対象名
  - ④ 測定値、状況等
  - ⑤ その他

## 3. 4 間取り平面図、スケッチ及び調査点の記

- 1) 間取り平面図  
縮尺 100 分の 1 程度の調査建物の間取り平面図には、次の項目を記入する。
  - ① 調査年月日

- ② 調査員名
- ③ 建物住所
- ④ 所有者名
- ⑤ 使用者名
- ⑥ 建物の用途
- ⑦ 構造
- ⑧ 経過年数

2) スケッチ

写真記録を補足するため、スケッチを描く。

3) 点の記

亀裂幅、亀裂長、内壁と柱、回縁とのすき間等の調査点及び撮影点を記入する。

### 3 章 報告書

#### 3. 1 調査報告書

調査報告書は、調査件名、調査内容並びに考察等を記述し、次の図書を含めるものとする。

1) 地域平面図 縮尺 1000 分の 1 程度、建物番号を記入。

2) 調査建物一覧表 次の項目を記述すること。

- ① 建物番号
- ② 所有者名、所有者の住所
- ③ 所在地、使用者名
- ④ 建物の種類、用途、経過年数並びに延床面積
- ⑤ 損傷の有無、状況

3) 間取り平面図 縮尺 100 分の 1 程度

4) 写真説明表 次の項目を記述すること。

- ① 建物番号
- ② 所有者
- ③ 使用者
- ④ 所在地
- ⑤ 建物種類、用途
- ⑥ 経過年数
- ⑦ 損傷概要
- ⑧ 調査年月日
- ⑨ 立会人

5) 点の記

#### 4. 2 写真集

1) 写真集サイズ A4 とし、1 冊にまとめる。

2) 写真サイズ 原則として A4 に 3 枚程度とする。

3) 写真データ 電子データは、CD-R 等で提出する。

### 3. 3 提出部数

報告書の提出部数は、製本 2 部とする。

## 4 章 履行期限

本業務の履行期限は、令和 7 年 1 1 月 7 日（金）まで

※ 「2 章」の項目については、令和 7 年 9 月 1 6 日（火）までに完了させること。